



こんにちは

横浜市議員

日本共産党

週刊ニュース

岩崎ひろしです

岩崎ひろし事務所
2012.05.30号

<日本共産党戸塚区事務所>
横浜市戸塚区上倉田町509-1

TEL865-0074 FAX865-0594

E-Mail:mail@iwasaki-hiroshi.jp

http://www.iwasaki-hiroshi.jp/

福祉パスは救いのカード、有料化しないで！

横浜市が福祉パス一律年間3200円の有料化案を提示

横浜市は、障害者の外出支援として無料で市営地下鉄や路線バスなどに乗車できる「福祉パス」を、年間3200円の有料交付とする案を、5月16日に開催された議会健康福祉・病院経営委員会に示しました。

知的障害者にも対象を拡大

市は、福祉パスについて2009年度にアンケート調査、2010年度に利用者意識調査、2011年度に利用者実態調査を実施。その結果を踏まえて、対象要件を比較的軽度の知的障害者（愛の手帳B2所有者）に拡大します。

有料化して使う人だけに渡す制度に

一方、利用者負担として一律年間3200円の利用者負担を導入します。その理由として、交付枚数と事業費は年々増え続けており、1枚当たり5万円以上の経費がかかっていること、福祉

パスをもらっているけれども「利用していない」「月に1～5日しか利用していない」方が全体の4割以上を占めており、使う人だけに渡す制度に変更するとしています。

6月から市民意見募集、来年10月実施予定

市は、5月から当事者や家族団体、支援者等に説明、6月中旬から2カ月間にわたり市民意見募集を行い、年内に条例改正案を市議会に出し、来年10月から実施したいとしています。

「有料化になると生活厳しい」

福祉パス有料化を報じた東京新聞（5月18日付け）をブログに掲載した古谷やすひこ議員には、「福祉パス有料になるとかなり生活が厳しくなります」「福祉パスは救いのカード」などとして、有料化を見直すよう求めるコメントが寄せられました。

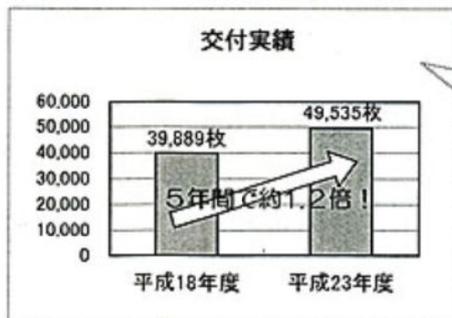
横浜市健康福祉局
提出資料より

サービスの拡充

2つの柱のバランス!!

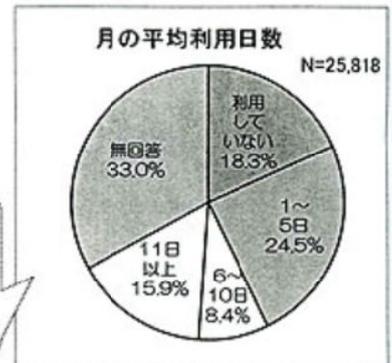
制度の安定性・持続性

◆福祉パスに利用者負担を導入します（一律、年額3,200円）



交付枚数(交付者)、事業費(市税)は年々増え続けています
1枚あたり5万円以上の経費!

福祉パスをもらっているけれども「利用していない」「月に1～5日」しか利用していない方が全体の4割以上を占めています
※H22アンケート調査より（全交付者約48,000人に実施）



交付の適正化（使う人だけに渡す）と安定した制度継続へ

なぜ3,200円?

年額3,200円 ÷ 12か月 = 約267円/月

敬老特別乗車証の利用者負担金（生活保護受給者層を含む最低金額）と同額

障害者割引（身体障害者手帳、愛の手帳）を利用した場合のバス片道運賃（110円）×3回分よりも安い